

令和5年1月 実施

事業所名:キッズゆにつく学園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			
	②	職員の配置数は適切であるか	92%	8%		・スタッフの急な体調不良などの休みの時は、プログラムを工夫するなどして対応している。 ・スタッフ同士声をかけ合っているが、年齢によっては足りないと思う時もある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	75%	17%	8%	・可能な範囲で行っている。現在バリアフリー化の必要性はないため、対応していない。 ・バリアフリー化の必要な児童が現在はいないため ・一軒家の特性上、住み分けが難しい部分もある。 ASD等の子どもには刺激が多い所もあるため、職員間で努力しながら環境に配慮している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	92%	8%		・リーダーミーティング、土曜ミーティング等で話し合いをしている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、保護者への配布または事業所の会報やホームページ等での公開を行っているか	83%	17%		・前年は保護者に配布している。 ・HPでの公開はしていないと思う。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・外部の講師を呼ぶ等し、研修を行い、職員の理解を高めている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			・支援計画作成の都度、保護者との面談等を行い、ニーズや課題を分析し、作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	83%	8%	8%	・個々に合わせた対応を行っている。 ・OTやSTからの評価を踏まえたアセスメントを現場に下ろしている
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・集まる機会を作り、全員でプログラムの立案を行っている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	92%	8%		・2組の広い空間を活用した活動を多く取り入れていく
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%			

適切な支援の提供	⑩	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	17%	8%	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEなどで都度共有している。週末にまとめてミーティングを行っている。 ・日案の事前作成や役割分担をLine等活用して共有している。 ・活動予定表をもとに職員間で共通認識を図り、療育を行っている。 ・いる職員で細かく決めて行っている。
	⑪	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	58%	42%		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎業務も重なり、打ち合わせできない日もあるので、文章化等で全体で振り返りを共有している。 ・できていない日もあるため、短い時間でもよいので情報共有したり、ミーティング(土)で共通認識を図っている。 ・支援終了前に帰宅するのでその日にはできる人できない日があるので、時間をとり、その日のうちに振り返りや気づいたことを共有していきたい。 ・送迎の関係上毎日難しいのではないかと。土曜日にまとめて確認する機会がある。
	⑫	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			
	⑬	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	92%	8%		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参加して全スタッフその内容を伝えている。
	⑮	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し具体的な話し合いが行われたり、定期的な連携がより行えるとよいことがある。 ・デイの負担が大きくなっている。
	⑯	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17%	33%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、行っていない。
	⑰	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	17%	50%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため行っていない。 ・会自体がどの程度行われているか把握できていないため
	⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との情報共有、相談等、管理者、スタッフ間で共通理解を持っている。
	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	58%	17%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスや傾聴を主として行っている。 ・ペアレントトレーニング等は、実施できていないように感じる。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身まだまだ経験が少ないため、今後は積極的に行っていく
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			

保護者への説明責任等	⑳	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・都度行っている。	
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8%	33%	58%	・コロナ禍もあり、行っていない。 ・父母の会や保護者会は行っていない。 ・保護者同士の連携をとるための会などは開催できなかった。 ・父母会があるのかわからない ・コロナ禍により難しいが、必要性は感じるので考えていきたい。	
	㉒	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92%	8%			
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	25%			・LINEを活用し行っている。 ・行事ごとに発信できている。 ・会報等は発行していません。
	㉔	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%				
	㉕	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	83%	17%			
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	92%	8%			・定期的に避難訓練を行っている。 ・まだ訓練に参加できていない。
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	83%	17%			
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	92%	8%			・現在アレルギー対応児は居ない認識。
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				・ささいなこともヒヤリハットを作成し、全員で共有できるようになっている。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				・資料の共有化。
㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	83%	17%			・すべての支援計画に明記されていて、周知されている。	

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。